

みはら再発見 わたしのまちのふるさと大使

市の情報発信や産業・観光などの振興のため、市にゆかりのある14人と1組に「三原市ふるさと大使」を委嘱しています。

最終ページでは、三原市ふるさと大使の皆さんの三原の好きなおところや思い出などを紹介します。

観光課 ☎0848・67・6015

平成30(2018)年5月号
第158号 毎月1日発行
編集・発行／三原市秘書広報課

〒723-8601 広島県三原市港町三丁目5番1号
秘書広報課 ☎0848・67・6007
市ホームページ <http://www.city.mihara.hiroshima.jp/>

再生紙と大豆インクを使用しています。
点字版や録音テープ・CDも発行しています。問い合わせは秘書広報課へ。

「故郷」と聞いて思い浮かぶ場所を教えてください。
「生まれ育った大和町です。春は桜に菜の花、レンゲ、オオイヌフグリがあちこちで咲き、新緑の季節には大地からパワーをいっぱいもらいます。夏は太陽の日差しがさんさんと降り注ぎ、下校時刻に突如の夕立。何度、校舎で待たされたことでしょうか。秋は黄金色の稲穂が風に揺れ、冬は霜柱をザクザク踏みながら学校へ。あの景色と思い出の全てが私の故郷そのものです」

「故郷を離れてみて感じたことは。
「東京に住んで25年。いまだに東京暮らしがしっくりきません。故郷を好きな気持ち年々大きくなっています」
「ふるさと大使としてどんな活動をしていきたいですか。
「三原を多くの人に知ってもらう活動はもちろんのこと、故郷の皆さまに『講談』の面白さ、楽しさを生で味わっていただきたいと思っています。今も昔も変わることはない人の心が描かれた講談をたくさんの人にお届けしたいです」



ひゅうが 日向ひまわりさん
講師 日向ひまわりさん

大和町荻原出身。平成6年、2代目神田山陽に入門し、講師となる。平成20年に真打ちに昇進。東京都内の寄席をはじめ、全国各地で高座に上がる。大きな会場だけでなく、公民館や集会所など地域に密着した小規模な会場での高座も大切にしている。

家族、友達、大自然、思い出
ふるさとには宝物がいっぱい！
日向ひまわり



▲母校の旧神田小学校。現在は地元企業が社屋として活用しています



私の好きな風景

.....
母校の小学校の校庭や裏山など、観光名所ではなく、身近な場所が私の好きな場所です。高校卒業と同時に東京へ出たので、心に浮かぶのは大和町のいろいろな風景です。

三原市の人口(3月31日現在)	
※外国人住民を含む。 ※()内は前年同月との比較。	
世帯数	43,780 世帯 (-225)
人口	95,053 人 (-1,307)
男	45,493 人 (-692)
女	49,560 人 (-615)
人口移動の詳細については 広島県 人口移動 月報 で 検索	

税などの納期(普通徴収)	
○軽自動車税	
○県税の自動車税	
納期限	31日(木)まで
夜間収納窓口(19時まで)	
	3日を除く木曜日
航空機の騒音測定結果(3月分)(Lden)	
▶正広局(本郷町善入寺正広)	=51.0
▶本郷局(本郷町船木川西上)	=53.5

あ・と・が・き
今年のは桜は全国的に例年より早く開花したそうです。厳しかった冬の寒さで、花芽を目覚めさせる「休眠打破」が順調に進んだせいとか▼花といえば「返り咲く」という言葉。広辞苑によれば「花の咲く季節を過ぎて、再び咲くこと。転じて「いったん衰えたものが再び栄える」とも▼私事ですが、4月の異動で再び広報みはらに携わるようになりました。久しぶりで少々戸惑いも。桜のようにきれいに咲けなくても、せめて休眠は打破せねば(S)